

5 母子保健児童虐待予防事業

宮城県では産後うつ病や育児不安又は不適切な養育環境に係る対応困難性の高さが報告されている。

そのため、当センターでは育児不安や虐待要因の一つである産後うつ病などの精神疾患の早期発見と支援技術の向上や、児童虐待を予防するための地域支援体制の拡充を目的に、母子保健関係者研修を継続しているところである。

近年、児童虐待対応について多職種連携が求められていることから、令和3年度は母子保健・児童福祉関係職員その他、産科医療機関職員を対象に、周産期のメンタルヘルス支援に関し、それぞれの立場での支援や連携のあり方を考え、支援技術の向上を図ることを目的として研修を実施した。

また、コロナ禍の長期化や地震等の災害発生が相次いでいる現状を踏まえ、平時からの災害時対策のあり方を学び、災害時に母子が安心して生活できるよう災害時対策の推進を図るために研修を実施した。

○ 保健師等母子保健関係者に対する研修

研修名	実施日・会場	内 容	対象・参加者数
母子保健 福祉研修 I	令和3年 11月29日(月) 子ども総合セ ンター Web(自施設)	テーマ：周産期のメンタルヘルス支援 講義 「産後うつ病等の周産期精神疾患とハイリスク妊産婦の支援について」 情報交換「EPDSを用いた妊産婦メンタルヘルス支援の取組状況について」 講師 東北大学病院 精神科 病院講師 精神科医 菊地 紗耶 氏 ※オンラインで講義・助言	県・市町村の母子 保健・児童福祉担 当者、産科医療機 関職員 56人
母子保健 福祉研修 II	令和4年 2月28日(月) 子ども総合セ ンター Web(自施設)	テーマ：災害時の母子支援対策 講義「災害時における母子支援対策について」 ～東日本大震災発生時の母子支援の課題を 踏まえ、平時からの母子支援における災害 時対策のあり方を学ぶ～ 演習「妊産婦や子育て当事者の受援力を高め るためにどう備え、どう動くか」 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 吉田 穂波 氏 ※オンラインで講義・助言 話題提供「行政と連携した子育て当事者によ る震災後の親と子の心のケア、防災啓発の 取組について」 講師 NPO法人ベビースマイル石巻 代表理事 荒木 裕美 氏	県・市町村の母子 保健・児童福祉担 当者 18人